

呪われた明治維新

歴史認識「長州嫌い」の150年

星 亮一 [著]

◆ISBN : 978-4-86581-097-4 ◆四六判・並製 ◆240ページ ◆2017年4月4日取次搬入

会津の長州への恨みは150年では消えない!

来年(2018年)は明治維新150年目の節目の年。明治維新の契機となった戊辰戦争において、幕府・会津軍は薩長軍に敗れたが、薩長軍、特に長州軍が会津の地で婦女暴行・金品強奪など非道のかぎりを尽したことはあまり知られていない。そして、会津の長州に対する恨みは150年経つ今でも消えていない。過去を水に流したい長州、過去を消さない会津。会津人の証言を基に、同地で何が行われたかを明らかにしていくとともに、日・中・韓問題にも重なる、「歴史認識」というものの難しさと本質に迫る一書。

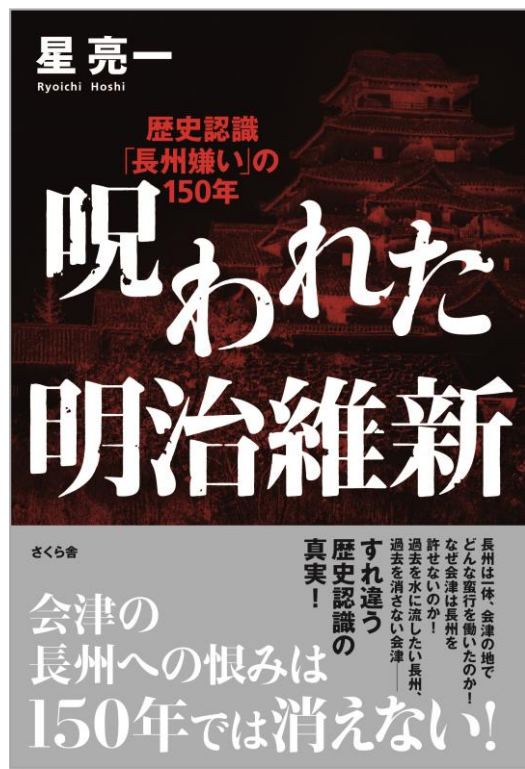
【本書の内容】

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 会津に残る薩長の略奪暴行の記録 | 5 京都守護職という罰ゲーム |
| 2 会津人・宮崎十三八の魂の叫び | 6 長州人は会津で何をしたか |
| 3 会津は怖い | 7 戊辰戦争の真実 |
| 4 吉田松陰と高杉晋作の実像 | 8 会津人の長州批判 |
| | 9 明治維新群像 |

【著者略歴】星 亮一 (ほし・りょういち)

1935年、宮城県仙台市に生まれる。一関第一高校、東北大学文学部卒業後、福島民報社記者となる。福島中央テレビ役員待遇報道制作局長を経て、歴史作家になる。日本大学大学院総合社会情報研究科博士課程前期修了。

著書には『伊達政宗』、『京大戦争』(以上、さくら舎)、『偽りの明治維新』(だいわ文庫)、『新選組と会津藩』(平凡社新書)、『明治を支えた「賊軍」の男たち』(講談社+α新書)、『大河ドラマと日本人』、『脱フクシマ論』(以上、イースト・プレス)、『長州の刺客』(批評社)などがある。



補充注文書	貴店印	発行:さくら舎	星 亮一 [著]	ご注文
		呪われた明治維新 歴史認識「長州嫌い」の150年		冊
	ご担当者様	ISBN 978-4-86581-097-4 C0095 四六判・並製 本体価格 1,500円+税		

補充注文書	貴店印	発行:さくら舎	星 亮一 [著]	ご注文
		京大戦争 テロリストと明治維新		冊
	ご担当者様	ISBN 978-4-86581-059-2 C0021 四六判・並製 本体価格 1,600円+税		

TEL 03-5211-6533 / FAX 03-5211-6481

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-2-11 KAWADA フラッツ1F 株式会社さくら舎 営業部

※返品はフリーです。